

### 神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル  
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062  
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

6月7日現勢 組合員 10,565人  
機関紙 6,476部  
年金切り下げ阻止2013年度版署名 8,290筆



神奈川県版 第300号 2013年 6月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777  
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

## 平塚支部が落合市長と懇談

### 年金削減反対、かなちゃん手形への補助金を要望



そろってパチリ！写真右から堀恵美子（女性の会書記）、原理想代女性の会代表、小杉栄一書記次長、兼子隆商支部長、落合克宏市長、長谷川トミ子、田中静枝、只野モト子以上役員

落合平塚市長と平塚支部との懇談会が今年も5月15日市庁舎で行われました。

市側は市長ひとり、組側は兼子支部長以下6人。2・5%年金削減問題では「機会があれば意見を」と前向きでしたが、「かなちゃん手形への補助金」については、「高齢者が健康保持を自宅近辺で行えるよう整備に予算を振り向けてほしい」「税金が改善されれば考えられなくもない」というものでした。

それには「高齢者が健康であるために、かなちゃん手形への補助金」と注文を付けました。

**県本部大会 9月24日**  
第66回県本部委員開く  
5月21日開かれ、2・5%

%年金削減阻止と仲間増やし運動に総力を上げるなど秋の県本部大会までの運動方針を確認しました。



茅ヶ崎支部は、女性の会のアンケートをもとに市高齢者福祉課、介護支援課と話し合いました。代田支部長、女性の会役員、11人が参加し、一人暮らしになった時に低家賃住宅に入りたい、月13万円より安い特養ホームが欲しい、などを要望。市は「市営住宅で対応したい」との回答がありました（写真左）。

## もっと安い特養を

### 茅ヶ崎支部が市窓口と話し合い

県内各会場での「メーデー・コンテスト」で年金者組合がたくさん受賞しています。横浜公園・県中央メーデーでも、県本部が最優秀賞を獲得。懸賞金5万円を受賞の立役者、旭支部（写真右）に2万円、横浜支部協議会に1万円、県本部に2万円、仲よく分けました。



メーデー・コンテスト  
県本部が最優秀賞  
5万円仲よく分ける



2.5%年金削減反対!!

県内初。地域で毎月やることになったヨ。（2013.5.21）

## 大曾根・樽大倉山一揆

### ウンやろう！こんなデモやりたかった 毎月決行

港北支部

5月21日（火）港北支部の大曾根・樽と大倉山の2つのブロック（班・分会）で支部として初のデモ行進を行いました。年金を引き下げられたら生活出来ないなどと話しているうちに「もう！頭にくる。地元で一揆やろうよ」と言い出した私（三浦）に「ウンやろう、やろう！前からこんなデモやりたかった」との顔見知りの方からの声。初めてデモに参加の83歳の女性からは、「歩くだけでもいいのに、声を伝か行けなかった」の声を聞いた。



横浜の街で「年金者一揆」が発生しました。県内はもちろん、ブロック、班、分会単位の一揆は、全国でも初めてでは、と話題になっています。40分のデモでしたが「よかったね。10月まで毎月やろう」と決め、6月は20日に決定。この一揆のチラシを作った年金しんぶんに折込み、みんなにひろげていこうと決まりました。（三浦マサ子）



## 最低保障年金制度の確立、低年金、格差 国連 日本政府に再々勧告 国連要請団 参加 村田さん、一色さんのレポート

行った「女性高齢者実態調査」に基づき、多くの年金者が低年金で暮らしていること、特に女性は配偶者が死亡したら食べていけない事、最低保障年金制度の確立が必要であること。最近の生活保護の中で、高齢加算の廃止や生活保護に対するパッシングについて報告しました。



国連会場の前で。後列左から2人目村田さん、3人目一色さん  
（一色由紀子、村田泰子）

4月25日～5月3日、ジュネーブで開催された国連社会権規約委員会は2001年から3回に渡って日本政府へ「年金・高齢者」について、①男女の格差②最低保障年金制度の確立③高齢者への虐待の3項の勧告を出していました。NGOと私たちの実情を聞くミーティングがあり、年金者組合中央本部の森口女性部長から全国の女性の会が

5月19日・20日、江ノ島の県立女性センターで

### 輝いて賢く生きよう!

#### ～江の島一泊交流集会～

女性の会主催の1泊交流集会が行われ、35支部109人の参加者がありました。中本部長の森口藤子さんが挨拶にかけ、川崎医療生協福祉事業部長の



熱心に学習する参加者

きつかけ、悩み、課題をどう乗り越えたいか等を中心に話し合いました。「一人拡大して参加した」との発言に拍手で始まった分散会もありました。

◆前進座◆  
5月10日の前進座の観劇会はおかげさまで前回は上回る273人の参加となりました。ご協力ありがとうございました。

◆神奈川年金者文芸◆  
(俳句) 三浦支部 鈴木 淑子  
五月雨に二の足踏むや浄土橋  
平塚支部 坪井 稔恭  
欲張ってよそってしまひ豆御飯  
平塚支部 高橋 福松  
草の芽の気ままに伸びし旅三日  
鎌倉支部 内田 秀子  
四次元の入口へ伸び時計草  
愛川支部 田辺 弘巳  
羞じらうや薄紅色の姫女苑  
愛川支部 八木 静枝  
石垣に香り漂う藤すだけ

◆日本高齢者大会 in三重◆  
各支部1人以上の参加を。9月12日(木)～13日(金)テーマ「憲法をいかに、だれでも安心できる国づくりへ」

### 火消し&救命士

西支部 青木昭弘



救急車に乗って(右)

①いまだに少女の声  
傷病者を見た瞬間、心筋梗塞で一刻を争う状態と判断。当時は循環器専門病院は受け付けてくれず、仕方なく一般の内科病院へ。心配そうに母の傍にいた

②男つて奴は  
現場に到着すると股間を押さえないながら痛そうにやと歩いて出てきた中年男性。救急車

③救急隊員の神経は？  
暑い真夏の午後、傷病者の家に着いた時、異変に気づきました。死臭が漂い、玄関を開けると濁った空気です。夕食は何も無かったように食べました。これだけではないと救急隊は出

### いまだに消えない少女の声 大丈夫って言ったじやない!

「大丈夫とおじさん言っただけじゃない」と悔しい、思い当てる。病者を冷たい目で見た

秋の墓前祭  
2013年秋の墓前祭は10月24日(木)に行います。予定に入れておいて下さい。

年金相談室  
毎月第2火曜日(7月は9日です)午後1時～4時  
全日本年金者組合 神奈川県本部  
横浜市中央区松影町2-7-12 飯田ビル2階 電話 045-663-4061

在職老齢年金の支給停止基準額を見直せ  
今、厚生年金、共済年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられており、60歳以降も働き続ける人が多くなっている。最近の年金相談では、「年金をもらいながら働いたら年金はどうなるか」「給料がいくらまでなら年金がカットされずにすむか」などとされた年金はあつと戻ってくるのか」など、在職老齢年金制度に係るさまざまな相談がふえている。厚生年金をもらいながら、厚生年金に加入して働いたときに給料によって年金が調整される、この年金を在職老齢年金と呼ぶ。この在職老齢年金制度の仕組みは、給料と年金を合計した月額が28万円を超えなければ年金はカットされないが、合計が28万円を超えた場合は超えた額の1/2が年金からカットされることになっている。 (鎌倉支部 社会保険労務士 夏野弘司)